

身近な水環境を調べよう！

－ 「第 21 回 身近な水環境の全国一斉調査」 参加のお願い －

全国水環境マップ実行委員会 実行委員長 風間 ふたば
長野支部責任実行委員 沼田 清

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと国土交通省・（財）河川環境管理財団が連携し、実施しています。

本調査は、「バックテスト」という簡単な調査キット（無償で配布）を用いて、全国で一斉に調査を行い、その調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が他地域と比較して良くわかります。

また、調査を 10 年 20 年と継続することで この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。子供から大人まで大勢の皆さまの参加申し込みをお待ちしています。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省河川局のホームページで公表されています。

調査日時 2024 年 6 月 2 日（日）※世界環境デー（環境の日）に近い日曜日

測定項目 気温、水温、COD、その他（任意）

測定方法 取扱説明書に基づき、調査キットにて測定

（調査キットは参加申込者に毎年 5 月頃事前に配布予定）

参加ご希望の方は 上記ホームページから参加申込用紙をダウンロードの上

2024 年 3 月 10 日までに E-mail または FAX で申し込みができます。

全国一斉調査 お申し込み先

FAX : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

なお、ご不明の点は下記の信州水環境マップ・ネットワーク事務局宛てにご一報ください。また、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

信州水環境マップ・ネットワーク事務局 沼田 清

〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町御代田 2538-11

電話 0267-32-8608 携帯 090-9801-6671 E-mail: ecolabo@rondo.ocn.ne.jp

Web : <http://shinsyu-mizumap.midorinooka.net/> この中の長野県水環境マップ

web マップ版を開いて過去数年分の変化を比較しつつご覧ください。

2023 年 第20回身近な水環境の全国一斉調査	
長野県版マップ 調査地点 280ポイント	
番号	調査グループ名
1	Encompass かんきょう羅針盤
2	NPO法人 みどりの市民 ・信州大学工学部環境学生委員会
3	アクサ水環境調査チーム
4	エコラボクラブ
5	クリーンピア千曲事業所
6	グリーンヒル友の会
7	せせらぎねばねっと
8	バレーリバー
9	ほっとスペース
10	リサイクルシステム研究会
11	㈱積水化成部品 飯田工場 SKG
12	軽井沢 史友会
13	軽井沢水楽会
14	戸隠地質化石博物館
15	佐久平イオンチアーズクラブ
16	佐久平浅間小学校クラブ活動
17	三峰川みらい会議
18	小諸市立美南が丘小学校クラブ活動
19	松本市立安曇小中学校
20	信州大学環境学生委員会
21	諏訪湖クラブ
22	千曲川水生昆虫研究会
23	長野県シニア大学・佐久学部
24	長野市水環境研究サークル
25	湯川 水の会
26	法政大学水文地理学研究室
27	飯水自然調査研究委員会
28	他に個人参加は1名

【2023年度全国一斉水質調査講評】

2023 年度全国一斉水質調査に参加された皆様、今年は第 20 回の記念すべき調査でしたが、共通調査日の前日 2 日ほどが長野県下では天候が悪く、当日は河川流量が多く、調査に難渋された方々が多かったのではないのでしょうか。それでも事故もなく無事終了することができありがたく思っています。今回の参加団体数は 27 団体と個人の方で昨年より大幅に増加、調査地点も 280 地点と、昨年よりも多い地点で観測をしていただきました。昨年までと同様に、その結果を地図にまとめました。コロナ騒動 4 年目という社会情勢の中、また河川流量増加という調査環境の中での観測という状況も加味してご覧ください。

今年も長野県下で測定された 280 地点中の 65%が水質良好でした。これは昨年の測定結果（61%）と比べると若干良い数字ですが、天候の差、調査した人にも差があることを考えれば単純に比較はできません。コロナ禍という異常事態が河川水質にまで影響する事態とはなっていないと思いますが、水質要注意の赤いマークが千曲川下流域で新たに増えた地点があることは気になります。赤マークの近くに住まわれている人たちのなお一層の努力を期待するところです。

社会全体が高齢化しつつある時代ではありますが、調査の継続性を考えると、長野県内でも若い世代の方々により多くの参加が期待されます。今回の調査では法政大学の学生さんたちの協力もありました。そして、矢作川グループなど、県外の方々の協力を得ながら、長野県の水環境をさらに良好に維持していくために、それぞれの日常生活での水に対する気配りをお願いします。長野県内の河川水質が良好に保たれている要因の一つに各地に設置された下水道システムの存在があります。これらの施設も建設以来年数がたてば老朽化し、維持費がかかるようになります。便利さにかまけて維持、補修についての配慮も忘れないようにお願いします。

（沖野外輝夫記）